

# 塩田庁舎等利活用市民ワークショップの概要

## ワークショップの狙い

- 新庁舎建設に伴う機能再編で生まれる塩田庁舎の余裕スペースについて、これからの塩田町のまちづくりを考えた時、どのように活用することが最も有効なのかを考える。
- また塩田庁舎周辺の公共施設の持つ機能を再編・集約などすることで、より充実したサービスやにぎわいづくりを創出できないかを考える。

## キーワード

- 塩田地域の活性化やにぎわいづくり
- 塩田庁舎並びに周辺公共施設の機能再編を伴う利活用

## ワークショップの位置づけ

- ワークショップの検討結果は、検討委員会を経て基本構想策定の基礎資料となる。
- また、今後、基本計画等の具体的な検討を行う際の参考となる。

## ワークショップの基本構成

### 1回目：施設の現状を知る

- どのようなサービスがあるか
- サービスや施設の課題
- その他の課題

### 2回目：地域のこれからを考える

- 充実して欲しい場所やサービス

### 3回目：塩田庁舎等の利活用

- 1回目、2回目を踏まえ、どのような利活用が有効かをまとめる。

## WSの参加者

- 幅広い世代の意見を集約するため、中学生以上を一般公募
- 住民アンケート結果より、主要テーマを意識したグループを想定

## グルーピングの視点

- 多世代の意見が反映するよう、年齢を考慮。
- 町外の方（嬉野市、嬉野市に勤務など）も考慮したグループ設定
- コミュニティのバランスを考慮

## 第1回：公共施設を探検しよう

塩田庁舎並びに周辺公共施設について、実施されているサービスや施設の現状を視察。

- 初回でもあり、十分なアイスブレイクが必要（多世代に配慮）
- WSに至る経緯の説明並びにWS位置づけを周知（事務局より）
- グループ単位で視察を実施。施設が多いため、実施に当たりグループの特性を踏まえた対象施設の割り当て、視察時間や視察内容の調整を検討
- 施設の概要（サービス内容、施設の特性など）や建物の課題（耐震化未実施など）の情報提供
- 視察後、グループ発表では時間を要するためワールドカフェ方式など意見を深める工夫をする。

## 第2回：塩田地区のまちなかに必要或いは充実してほしい場所やサービスを考える

テーマを設定し、思い（理想形）を抽出・集約し、共通の思いから将来ビジョンを考える。

- グループ協議のための資料として、住民アンケートを活用

### テーマ（視点）例

「中学生・高校生が利用しやすい」「塩田町の文化・伝統・芸術」「健康づくり」「子育て支援」

「にぎわいづくり」「地域の住民の交流」「塩田町の風水害対策」など

## 第3回：新たな地域拠点として塩田庁舎に必要な機能とは

将来ビジョンを実現化するための塩田庁舎及び周辺公共施設の機能の再編・集約などのアイデアを考える。

- 将来ビジョンやテーマを踏まえ、より充実したサービスやにぎわいづくりにつながる具体的なアイデアを協議
- グループ協議のための資料として、利活用事例を紹介

□ 7施設を視察する時間と視察内容を総合的に検討し、実施(案)を作成

